

カキ生育情報

千葉県

平成21年7月号

【6月の気象】

平均気温は平年に比べ第5半旬を除いて0.2~0.9 低く、月平均は20.6 で0.3 低かった。降水量は平年に比べ第5、第6半旬で多かったが、その他の半旬では少なく、月合計は248 mmでほぼ平年並であった。日照時間は平年に比べ第4、第6半旬で多く、その他の半旬では少なく、月合計は105 時間で平年よりも30 時間(約22%) 少なかった。

表1 平成21年6月の気象(暖地園芸研究所)

月	半旬	平均気温()		降水量(mm)		日照時間(hr)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月	1	18.9	19.8	16	26	17	28
	2	19.9	20.3	22	30	17	25
	3	20.5	20.4	27	46	19	23
	4	20.5	21.4	12	41	22	21
	5	22.1	21.3	81	54	7	19
	6	21.9	22.1	92	41	25	19
合計/平均		20.6	20.9	248	237	105	135

【樹の生育】

暖地園芸研究所の西村早生、松本早生富有及び富有は、昨年より横径、縦径ともに大きく、平年よりも大きかった。着果量は西村早生がやや多く、松本早生富有が平年並、富有がやや多かった。いずれの品種も、小果や奇形果の発生、樹間あるいは樹内での着果ムラが多かった。また西村早生でスジ果の発生が散見された。なお、本年の生理落果は6月上旬に始まり現時点で終了していると思われる、いずれの品種も落果量は少なかった。病虫害では、いずれの品種でも目立った被害は見られなかった。

いすみ市の西村早生は果実の発育は順調で昨年より大きかった。着果量は平年並で、目立った病虫害は確認されていない。

市原市の松本早生富有の着果量は平年並で、果実の発育は順調で昨年と同程度であった。病虫害では、カキノヘタムシガの幼虫の発生がわずかに確認された。

表2 果実の発育(平成21年6月30日)

品種	調査地	横径			縦径			果径指数		
		本年	昨年	平年	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年
西村早生	いすみ市	3.5	2.5	-	2.7	2.1	-	1.31	1.19	-
	暖地園研	3.8	3.1	3.5	2.9	2.5	2.7	1.31	1.27	1.29
松本早生富有	市原市	3.7	3.6	-	2.8	2.8	-	1.32	1.29	-
	暖地園研	3.9	3.2	3.6	2.9	2.5	2.8	1.32	1.26	1.26
富有	暖地園研	3.8	3.1	3.5	2.9	2.5	2.8	1.28	1.24	1.25

注1) 平年値は、暖地園芸研究所における平成2年から19年間の平均値

【7～8月の作業の要点】

摘果

西村早生では、果頂部が凹んでいる果実あるいは部分的な生育不良により不整形になった果実は、渋果の恐れがあるので摘果する。なお、8月中旬頃と収穫前の9月にも、渋果を樹上選別するための摘果を行うので、7月の時点では目標着果数(10a当たり12,000果)より2割程度多め(10a当たり14,000～15,000果)に果実を残しておく。

枝管理

不定芽(陰芽)が発生する場合は、枝葉が込まないように芽かき、摘心を行う。また、枝葉が込み合っているところや葉が傷んでいる場合も、病害の発生を抑え、枝の充実を図るため、枝や葉を間引きして風通しを良くする。特に、炭疽病の発生した軟弱な枝は必ず摘除する。なお、2次伸長枝はこの時期は放任する。

枝葉が少ない場合は徒長枝なども剪除せずに、ねん枝や誘引によって葉数確保に努める。

病虫害防除

7月から9月上旬は、炭疽病、落葉病、うどんこ病とカキノヘタムシガの防除時期であるが、西村早生などの極早生種では、薬害の恐れがあるために使用時期に留意する。カキノヘタムシガの2回目の幼虫の食害が始まるため、8月中旬に防除を行う。なお、カメムシ類の発生が多い場合は、8～9月が防除適期となる。

これらの防除は千葉県農作物病虫害雑草防除指針を参考に行う。

《生育情報の問い合わせ先》

千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所果樹研究室 TEL 0470-22-2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でも

ごらんいただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>